

# 使命達成のための第Ⅰ期活動計画

## Ⅰ 実施内容

- (1) 当館の使命達成のための活動計画を作成し、具体的業務の活動目標達成状況について評価を行いません。
- (2) 県民等との約束とも言える使命の達成に向け、計画的に業務改善を行いません。
- (3) 活動目標達成状況を公開することにより、当館の活動に対する県民等の理解を得ます。

## Ⅱ 活動目標の設定と評価実施の背景

- (1) 『将来ビジョン』において、当館の使命および使命実現のための目標を定めました。
- (2) 『将来ビジョン』において、事業面や管理運営面での基本方針を設定し、自己評価、外部評価を実施するとともに、その結果を反映させることにより、博物館の健全な経営体制を確立することを定めました。

## Ⅲ 実施の要点

- (1) 活動目標は、当館の業務を総花的に網羅するのではなく、使命実現のために取り組むべき重点課題を明確にし、具体的業務についての目標を設定します。
- (2) 活動目標の達成状況は、毎年度自己評価を行うとともに、活動目標が達成されていない場合、今後の改善点を検討します。
- (3) 外部評価を実施し、今後の改善点等に対しての意見を聴取します。
- (4) 当館の活動に対する県民等の理解を得るため、評価結果を公表します。
- (5) 活動目標は、その達成状況を年度ごとに把握し、必要に応じて計画を修正するなど、以後の計画に反映させます。
- (6) 計画の4年目が経過した時点で、活動目標の達成状況や、その時点で当館がおかれている社会状況等を踏まえ、次の5ヶ年の活動計画および活動目標の策定を行いません。
- (7) 本計画および評価結果を本庁（文化財課および社会教育課）と共有します。

## 4 当館の使命と目標

当館を取り巻く内外の状況変化と課題、そして県民のニーズを踏まえ、当館の使命を

### 「ひょうごの未来へのかけはしとなる博物館」

とし、地域や人々の暮らしの豊かさの礎である歴史文化遺産を未来へ継承することに努め、兵庫県、そして兵庫県に関わる様々な人々のより良い未来づくりに貢献します。

また、この使命を実現するための目標を次の通りとします。

#### 目標1：過去と未来とのかけはし

兵庫県では、五国であった時代からの多種多様な歴史文化遺産や、兵庫県成立から150年の間に蓄積してきた歴史文化遺産が、各地域で守られてきました。当館はそれらを未来へ継承できるように、施設・設備を改修し、資料の適正な保存・整理及び調査・研究に努めます。

#### 目標2：地域と未来とのかけはし

県内各地の歴史・文化の調査・研究を「ひょうご歴史研究室」とも協同しながら進めることで、新たな歴史的価値の再発見を行い、地域の歴史文化遺産の活用のための基礎作りに貢献します。また、県内の博物館・美術館などと連携した事業を行なうことで、地域の人々が自らのふるさとの魅力を発見する手助けを行います。これらの活動を通じて「地域の未来づくり」の一翼を担います。

#### 目標3：人と未来とのかけはし

年齢や性別、使用言語の違い、障がいの有無にかかわらず、誰でも楽しむことができる交流の場となることを目指します。また、県域の歴史や文化を紹介する常設展示や、多彩な展覧会、教育普及事業を通して、当館に集う人々、そして当館と関わる全ての人々が、より良い未来を創造する上で、新たな発見を得るための支援を行ないます。